

公 示

京都府立医科大学附属病院長の選考等に関する規程に基づき、次期病院長を決定したので、下記のとおり公示する。

令和5年1月13日

京都府公立大学法人理事長 金田 章裕

記

1 次期病院長

氏 名 佐和 貞治 (さわ ていじ)

現所属等 京都府立医科大学副学長

京都府立医科大学大学院医学研究科麻酔科学 教授

任 期 令和5年4月1日から令和8年3月31日まで

2 選考理由、選考経過

別紙のとおり

【選考理由】

佐和 貞治氏は、京都府立医科大学附属病院において、危機管理が問われる医療安全事案に対して、医療安全推進部長として適切に対応してきた。副病院長も経験し、組織管理全般の実績を備えている。加えて、教職員からの人望も厚く、附属病院の理念である「世界トップレベルの医療を地域へ」の実現に向け、病院事業全般を推進する強いリーダーシップ及び実行力を有している。以上のことから、「京都府立医科大学附属病院長候補者の選考基準」に掲げる要件を満たしていると考ええる。

さらに、少子超高齢社会・働き方改革など、今後大学病院を取り巻く環境の変化への対応を踏まえて、附属病院の更なる発展、そして京都府の地域医療への貢献を目指そうとする強い意志を示されており、次期病院長候補者として適任であると判断した。

（参考）京都府立医科大学附属病院長候補者の選考基準

病院長候補者は、次の各号に掲げる全ての要件を満たす者とする。

- (1) 学内外を問わず、日本国の医師免許を有する者
- (2) 附属病院の理念及び基本方針に基づいた病院運営を行う能力を有する者
- (3) 医療安全管理業務の経験、患者の安全を第一に考える姿勢及び指導力等を有する者
- (4) 病院での組織管理経験及び高度な医療を司る特定機能病院の管理運営上必要な資質及び能力を有する者

【選考経過】

令和4年 9月26日 第1回附属病院長候補者選考会議を開催

- ・選考の流れ等を決定

令和4年11月 8日 附属病院長候補者の選考基準を決定・公表

令和4年11月17日 第2回附属病院長候補者選考会議を開催（書面）

- ・推薦資格者に係る選考要綱の改正を決定

令和4年12月 8日 次期病院長候補者選考を実施する旨を公示

令和4年12月16日 次期病院長候補者の推薦受付

- ・被推薦者数計 1名

令和5年 1月13日 第3回附属病院長候補者選考会議を開催

- ・被推薦者に対して面接を実施
- ・次期病院長候補者を選考

上記選考結果について、選考会議議長が京都府立医科大学学長に報告

同日付けで京都府立医科大学学長が理事長に次期病院長候補者を申し出